

新基地中止を

辺野古で2度目集会



多くの県民が集まった新基地建設阻止を訴える集会「9・20県民大行動」＝20日午後1時50分ごろ、名護市辺野古の浜

【辺野古問題取材班】名護市辺野古の新基地建設に反対しよう、県内の市民団体などは20日午後2時、辺野古の浜で県民集会「みんなで行こう、辺野古へ。止めよう新基地建設！9・20県民大行動」を開催した。8月23日に米軍キャンプ・シュワブのゲート前で最初の集会を開催して以来、2回目となる。

開会前には少なくとも参加者3千人余が集まり、「平和を脅かす新基地を許すな」「政府の横暴を許さない」と声を上げ、米軍普天間飛行場(宜野湾市)の県内移設に反対する意思を示した。

集会では名護市の稲嶺進市長をはじめ、辺野古で反対の声を上げ続ける市民らがあいさつする。

実行委員会が用意した貸し切りバス40台が糸満市や那覇市、名護市など本島14市町村から出発。実行委によると、少なくとも大型バス67台が出た。正午以降、続々と辺野古に到着した。それぞれの団体や地域ごとでバスを貸し切り、路線バスを利用して訪れる人もいた。実行委は3千人以上を参加目標としている。

実行委は「沖縄『建白書』を実現し未来を拓く島ぐるみ会議」、沖縄平和運動センター、県選出・出身野党国會議員でつくる「うりずんの会」と県議会野党4党派、県統一連、平和市民連絡会、へり基地反対協議会で構成される。

米軍基地に向かって「新基地建設反対」などのシュプレヒコールを上げる市民ら＝20日午前10時17分ごろ、米軍キャンプ・シユワブのゲート前



国強権に怒りの拳



開会を前にアコーディオン伴奏で「沖縄を返せ」を合唱する参加者ら＝20日午後1時35分ごろ、名護市辺野古の浜



思い思いのプラカードを掲げる参加者＝名護市辺野古の浜



新基地建設阻止を訴える集会「9・20県民大行動」へ集結した県民ら＝20日午後1時40分ごろ、名護市辺野古の浜



「命の海を壊すな」「自然は宝」との思いを訴える参加者＝名護市辺野古の浜